

# 総合型選抜

## ■募集定員

「学部・学科および募集定員」(5ページ表)を参照してください。

## ■出願資格

次のすべてに該当する方です。

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方、または2025年3月卒業見込みの方、ならびに大学を受験できる資格を取得した方、または2025年3月までに取得見込みの方
- ② 出願する本学の学部学科への入学を強く希望し、合格した場合、必ず入学手続きをする意思のある方
- ③ 出願する本学の学部学科に入学した場合、その学科で学ぶ学生として、積極的で有意義な学生生活を送ることができる学力、意欲、適性をもっており、それをアピールできる方

## ■出願期間・試験日・合格発表

	第一次選抜			第二次選抜		
	出願期間	面接期間(予定)	評価通知日(予定)	出願期間	試験日	合格発表
A日程	9月 2日(月)～ 9月 6日(金) 15時必着	9月21日(土) ～ 10月10日(木)	10月16日(水)	10月25日(金) ～ 10月30日(水) 15時必着	11月16日(土) 11月17日(日)	12月 2日(月)10時
B日程	11月 1日(金)～ 11月 6日(水) 15時必着	11月23日(土) 11月24日(日)	11月29日(金)	12月 2日(月) ～ 12月 5日(木) 15時必着	12月14日(土)	12月20日(金)10時

- ・ 出願書類が出願期間より早く送付された場合は、出願期間初日に受付します。
- ・ 第一次選抜の面接日は、上記面接期間の土曜日または日曜日に実施をします。
- ・ A日程第二次選抜の試験日は上記のどちらかの日にちとなります。
- ・ 合格発表は合否照会システムを利用して、パソコン、スマートフォンで合否を確認することができます。

## ■試験場

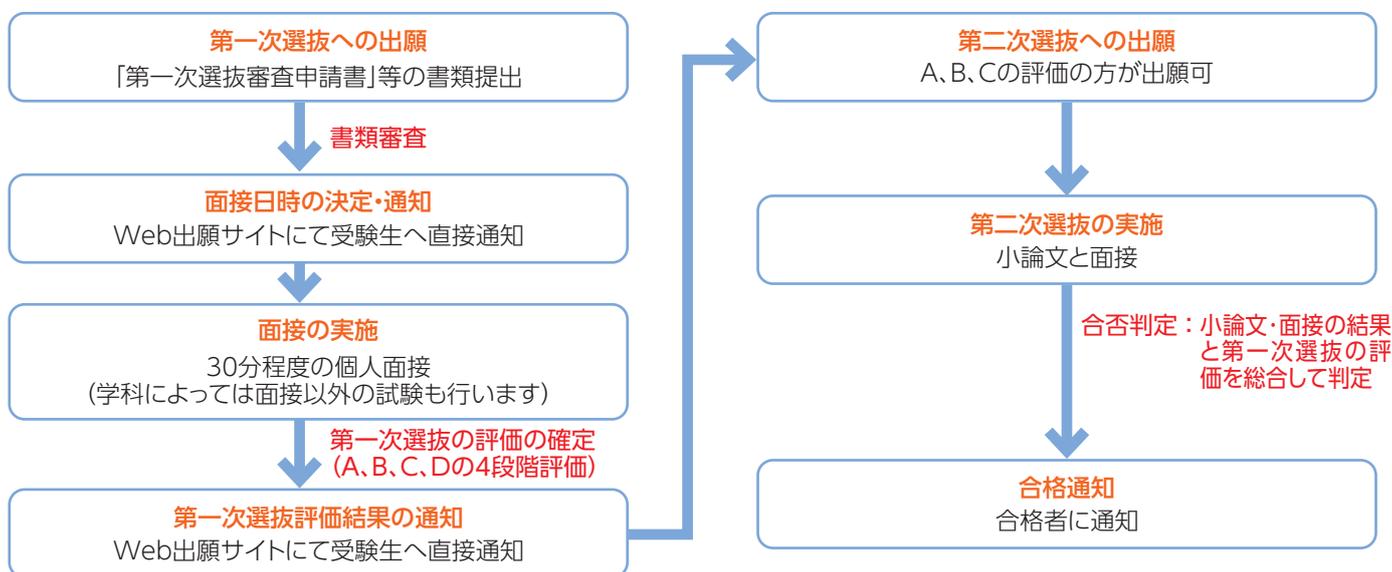
	全学部全学科
第一次選抜(A・B日程共通)	東北学院大学 五橋キャンパス
第二次選抜(A・B日程共通)	

## ■入学検定料

第一次選抜 10,000円

第二次選抜 23,000円

## ■選抜方法



## 第一次選抜

出願時に「第一次選抜審査申請書」を提出し、提出書類の内容を中心に書類審査と面接を行います。書類審査と面接(学科によって面接以外の審査もあります)によって、4段階(A、B、C、D)評価をします。ただし、書類審査の結果により不合格となる場合もあります。

### ◆第一次選抜の評価

第一次選抜の4段階評価(A・B・C・D)の内容は次の通りです。なお、第二次選抜はA～C評価の方のみが出願できます。

評価結果	評価内容
A	特段の事情がないかぎり合格とする
B	合格の可能性が高いが、第二次選抜の結果しだいでは不合格もありうる
C	不合格の可能性が高いが、第二次選抜の結果しだいでは合格もありうる
D	不合格とする

### ◆特定の学科における審査について

以下の学科では次の審査も実施します。

学科名	説明内容
英文学科	英文学科では一定の英語資格・検定試験の成績を第一次選抜の得点に反映します。試験の成績証明書がある方は面接時に持参してください(証明書のコピーは不可)。試験種類等の詳細は総合型選抜募集要項(第一次選抜)で確認してください。
経済学科	経済学科では、個人面接の前に、1組4人程度でグループ・ディスカッションを行います。所要時間は40分程度です。試験開始時にディスカッション用の資料が配られ、10分で出題されたテーマについて自分の考えをまとめます。その後30分で、出題されたテーマについて討論を行います。終了後、個人面接を20分程度行います。
法律学科	法律学科では「法または政治」に関して下記に提示されたテーマから1つを選び、調べた内容、自分の考えなどを5分程度で面接時間中にプレゼンテーションしてもらいます。それらについて論理的に道筋を立てて表現することができるかなどを総合的に評価します。 今年度のプレゼンテーションのテーマは「週刊誌が有名人の私生活を報道することの問題点」「自転車運転に免許制を導入するとしたら、どのような内容にしたらよいか」の2つです。なお自分で作成した紙面での資料を用意して構いません。その際にはご自身のもの以外に2部ご用意ください。電子機器を使用した発表はできません。
地域コミュニティ学科	地域コミュニティ学科では「よりよい地域づくり」のための課題を各自で設定し、その内容について5分程度で面接時間中にプレゼンテーションしてもらいます。取り上げる内容への着眼点、調査方法、探求・解決方法、独創性、表現力などが総合的に判断します。なお自分で作成した紙面での資料を用意しても構いません。電子機器を使用した発表はできません。
政策デザイン学科	政策デザイン学科では「私が取り組んでみたい地域社会の課題」をテーマに、5分程度で面接時間中にプレゼンテーションしてもらいます。自作のA3サイズ以下の紙面での資料を用意してください。その際は自身のもの以外に2部ご用意ください。電子機器を使用した発表はできません。プレゼンテーション内容は第一次選抜審査申請書の「探究学習」と同じでも構いません。プレゼンテーションのテーマは本学のウェブサイトで公開されている政策デザイン学科のカリキュラムなどをもとに設定し、何が問題になっており、どんな解決策が提案されているのかなどを調べてください。調べた内容については、具体的な記述を心掛け、参照した本や資料がある場合は出典を明記してください。評価の観点は「論理性」「客観性」「発表の準備が適切になされているか」です。

## 【ポイント】法律学科・政策デザイン学科のプレゼンテーションについて

### 〈法律学科〉

法律学科ではプレゼンテーションの準備や発表のヒントを「総合型選抜の手引き」として法学部のウェブページに掲載しています。資料作成や発表準備の参考にしてください。

<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/faculty/law/about/sougou.html>

### 〈政策デザイン学科〉

プレゼンテーションのテーマについては、何が問題になっており、どんな解決策が提案されているのかなどを調べてください。調べた内容については、具体的な記述を心掛け、参照した本や資料がある場合は出典を明記してください。また地域社会の課題というのは、少子高齢化、地域福祉、地方財政、経済格差、地域振興、労働問題、災害と復興、市民活動、ジェンダー、多文化共生、差別問題などです(これ以外でも構いません)。なお、プレゼンテーション内容が第一次選抜審査申請書の「探究学習」と内容が同じでも構いません。評価の観点は「論理性」「客観性」「発表の準備が適切にできているか」です。

# 総合型選抜

## ◆第一次選抜審査申請書について（参考）

第一次選抜出願時には第一次選抜審査申請書を提出していただきます。

第一次選抜審査申請書の記述項目は下表の内容となっております。

設 問 項 目	
I	本学全体および志望する学部の入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）をふまえながら、あなたが本学への入学を希望する理由について記述してください。
II	あなたが出願した本学の学科に入学したとき、その学科の学生として、どのような学修を行いたいと考えていますか。学科の理念・目的・求める学生像に対する理解や考え方をふまえながら、学修計画について記述してください。
III	ここ数年の間に起こった出来事・現象のなかで、あなたが最も興味を感じたものを挙げてください。また、それは、特にどんな点で興味をもちましたか。あなたがこれまでに興味を持って習った（習っている）科目との関連も含めて記述してください。
IV	あなたは、出願した本学の学科に入学したとき、学修以外にどんな大学生活を送りたいと考えていますか。
V	あなたは、現在のところ、大学卒業後の進路について、どのように考えていますか。
VI	あなたがもっている能力、資質、適性、興味、経験、資格などを、あなたが志望する学科での学びにどのように生かそうと考えていますか。志望する学科の求める学生像・重要評価点と関連させながらアピールしてください。
VII	高校生活の中で取り組んだ探究学習を一つ選び、その概要をまとめてください。高校の授業外で行った活動の記録や成果でもかまいません。グループによる学習活動の場合は、あなたが担当した役割等がわかるように記述してください。

なお、「第一次選抜審査申請書」は右のQRコードより内容を確認することができます。

また、「第一次選抜審査申請書」の書き方も同じページより確認できます。



## 第二次選抜

第一次選抜でA、B、Cの評価を受けた方が出願できます。

小論文作成のポイントが  
41ページにあります。

### ●第一次選抜でAまたはBの評価を受けた方

小論文と出願書類審査を行い、その結果と第一次選抜における評価を総合することで最終的に合否を判定します。

試験科目	第一次選抜	小論文	書類審査	合計
配点	200	100	100	400

### ●第一次選抜でC評価を受けた方

小論文と出願書類に基づく面接を行い、その結果と第一次選抜における評価を総合することで最終的に合否を判定します。

試験科目	第一次選抜	小論文	面接	合計
配点	200	100	100	400

### 〈試験内容〉

#### ① 小論文

【文・経済・経営・法・地域総合・情報・人間科・国際の各学部】与えられた文章の要約や自分の意見の論述をします。  
(60分／800字程度)

【工学部】与えられたテーマに関して、自分の意見の論述をします。(60分／600字程度)

#### ② 面接

二人の面接試験担当者による個人面接を行います。(5～10分程度)

## ■入学手続

日 程	手続方法	日 時
A日程	全 納	2024年12月18日(水) 15時必着
B日程		2025年 1月 8日(水) 15時必着

納入金額については、学生納付金等[2024年度参考]を参照してください。(50～51ページ)。

## ■総合型選抜における重要評価点(学科別)

学部・学科		重要評価点
文学部	英文学科	<ol style="list-style-type: none"> <li>十分な学力の裏付けがあること。</li> <li>英語を含む外国語学習に強い意欲をもち実践していること(第一次選抜の面接において、短い英文を音読してもらい、その内容について質問に答えてもらう場合がある)。英語資格・検定試験の成績を第一次選抜の得点に反映させるので、成績証明書(コピー不可)を第一次選抜の面接時に持参すること。</li> <li>知的好奇心が旺盛であること(第一次選抜の面接において、読書経験について答えてもらう場合がある)。</li> <li>論理的な思考力を有し、自分の言葉で自分の考えを明確に説明できること。</li> <li>英文学部のカリキュラムを十分に理解し、4年間の勉学プランをもってのこと。</li> </ol>
	総合人文学科	<ol style="list-style-type: none"> <li>思想・哲学、文化・芸術、宗教・神学などの人文諸学に関心をもち、本学科での勉学に強い意欲を有していること。</li> <li>英語をはじめとした基礎学力を有していること。</li> <li>読解力を有し、自分の考えを論理的に表現する力をもってのこと(第一次選抜の面接で読書経験を尋ねられることがある)。</li> <li>社会に対して強い関心をもち、積極的にかかわろうとする姿勢を有していること。</li> </ol>
	歴史学科	<ol style="list-style-type: none"> <li>論理的な思考力を有し、自分の言葉で考えを明確に説明することができること。</li> <li>歴史に関する基礎知識を有していること。</li> <li>歴史学科で何を学びたいのか、目的がはっきりしていること。</li> <li>好奇心旺盛で、自分から率先して学び調べようとする積極性があること(第一次選抜の面接において、読書経験を尋ねられることがある)。</li> <li>幅広い知識を吸収できる柔軟な思考・十分な基礎学力を有していること。</li> </ol>
	教育学科	<ol style="list-style-type: none"> <li>十分な基礎学力を有し、知的好奇心が旺盛であること。</li> <li>論理的な思考力を有し、自分の言葉で自分の考えを明確に説明することができること。</li> <li>人の学びと教育に関して、強い関心を有していること。</li> <li>本学科のカリキュラムを十分に理解し、4年間の勉学に関するプランをもってのこと。</li> </ol>
経済学部	経済学科	<ol style="list-style-type: none"> <li>国語・数学・英語の基礎学力が十分にあること。</li> <li>経済学科の理念、教育目標・到達目標について理解していること。</li> <li>経済学科の開講科目に強い関心をもち、学ぶ目的がはっきりしていること。</li> <li>社会・経済の動きに強い関心をもち、その背後にある理由や解決策を探究したいという強い意欲を持っていること。</li> <li>論理的に考え、自分の意見を明確に主張できること。</li> </ol>
経済学部	経営学科	<ol style="list-style-type: none"> <li>国語・数学・英語の十分な学力があること(面接では左記科目の学力を確かめることを目的とした質問をする場合がある)。</li> <li>本学部を志望する経緯について明確に説明できること。</li> <li>本学部で何を学び、それを将来どのように活かすかについての明確なビジョンをもち、それを実現するための学修プランをもってのこと。</li> <li>社会や経済、経営全般に関して興味や疑問をもったことについて、深く掘り下げて調べ、明らかにした結果を自分の言葉で説明できること(第一次選抜の面接において、説明してもらう場合がある)。</li> </ol>
法学部	法律学科	<ol style="list-style-type: none"> <li>学びの基礎となる「国語」「外国語(英語)」「公民」の学力が法学部の水準に達していること。</li> <li>文章を正しく理解するために必要な読書の習慣があること。</li> <li>ニュースに定期的に接する(具体的には、新聞を読む、その他のメディアで視聴する)ことにより、法や政治への関心や知識を有していること。</li> <li>将来への目標を有しており、そのために必要となる法学部での学習内容を理解し、学習への意欲を十分にもっていること。</li> <li>物事を筋道を立てて説明でき、自分なりの言葉で表現できること(第一次選抜の際に、「法または政治」に関する事柄をテーマに5分程度のプレゼンテーションをしてもらう)。</li> </ol>
工学部	機械知能工学科	<ol style="list-style-type: none"> <li>機械工学を学ぶために必要な数学、物理、英語の基礎学力をもち、自分自身で問題を発見し、解決するための方法を考え、解決しようとする姿勢をもっていること。</li> <li>総合型選抜により入学しようとするはっきりとした理由とそれを明らかにできる活動や経験があり、それを面接委員に十分に伝えられること。</li> <li>技術者として必要な自立・自律する心を育てることと、社会の一員としての責任を自覚して、積極的に学ぼうとする意欲をもっていること。</li> <li>学科のカリキュラムについての調査および把握をしたうえで、大学での勉学に対する意欲をもっていること。</li> </ol>
	電気電子工学科	<ol style="list-style-type: none"> <li>電気電子工学科の教育内容を十分に理解したうえで、総合型選抜を選択した理由、勉学動機と目標を明確に説明できること。</li> <li>電気電子工学を学ぶために必要な数学・物理・英語の基礎学力をもち、自ら学習しようとする積極性を有すること。</li> <li>先端科学技術に強い関心をもち、強い学習意欲と高い目標をもっていること。</li> </ol>
	環境建設工学科	<ol style="list-style-type: none"> <li>環境、土木、建築での学習に必要な基礎学力を有していること。</li> <li>環境、土木、建築で不可欠な科目(数学、力学、計画、設計製図、実験など)を学ぶ強い意欲があること。</li> <li>環境、土木、建築の技術者として、社会への貢献を希望していること。</li> </ol>
地域総合学部	地域コミュニティ学科	<ol style="list-style-type: none"> <li>本学科で学ぶための十分な学力を有し、学科の教育内容を理解し、志望理由を明確に表現できること。</li> <li>「よりよい地域づくり」に強い関心をもち、それを深く探究・解決しようとする意欲があること(第一次選抜の際、「よりよい地域づくり」について5分程度のプレゼンテーションをしてもらう)。</li> <li>校内外の活動に積極的に取り組んできた経験をもち、その内容を自らの言葉で表現し説明できること。</li> <li>将来も地域に積極的にかかわっていきこうとする明確な目的と意欲をもっていること。</li> </ol>
	政策デザイン学科	<ol style="list-style-type: none"> <li>本学科の教育内容とその特色をよく理解し、本学科で学ぶのに十分な基礎学力を有していること。</li> <li>本学科で学びたいという明確な意志をもち、審査申請書について自分の言葉で適切に記述し説明できること。</li> <li>地域が抱える具体的な社会課題に関心をもち、関連する事柄を深く調べたうえで自分の言葉で筋の通った説明ができること(第一次選抜の際に「私が取り組んでみたい地域社会の課題」をテーマに5分程度のプレゼンテーションをしてもらう)。</li> <li>地域課題の解決に貢献しようとする意欲をもっていること。</li> </ol>
情報学部	データサイエンス学科	<ol style="list-style-type: none"> <li>大学で学ぶための基礎学力と理解力をもち、情報科学系、数理学系、社会科学系のいずれかの科目に強い関心を有していること。</li> <li>本学科のカリキュラムを理解し、目的意識をもちながら専門的に学ぶ意欲があること。</li> <li>一般社会においてデータや情報がどのような役割を果たしているかを理解し、関連する諸学問分野にも広く関心があること。</li> <li>人々と積極的にコミュニケーションを図ってきた経験をもち、そのことを具体的に説明できる表現力をもっていること。</li> </ol>
人間科学部	心理行動科学科	<ol style="list-style-type: none"> <li>人間の心や身体、社会の問題に関して深い理解が得られるような本を積極的に読み、その内容を的確に理解する基礎的な学力を有すること。</li> <li>人間の心や身体、社会の問題を実証的に分析する基礎となる数学的思考力を備えていること。</li> <li>自分の興味関心と将来の目標について筋道を立てて自分なりの言葉で説明できること。</li> <li>人間に対する探究心をもつとともに、本学科の提供する教育内容について自ら調べて、志望理由を明確に表明できること。</li> </ol>
国際学部	国際教養学科	<ol style="list-style-type: none"> <li>外国語学習への意欲をもち、何かしらの実践をしていること。</li> <li>どんなことをなぜ学びたいのかが明確であること。</li> <li>自分と異なる背景を持つ人と接した経験があること。</li> <li>書物や新聞などを読み、知識や教養を深めようとしていること。</li> <li>「国際」とはどのようなことを意味するか、自分の経験や知識に基づいて具体的に説明できること。</li> </ol>

⚠ 法律学科・政策デザイン学科のプレゼンテーションの内容は21ページを参照してください。また、42ページ総合型選抜Q&Aも参照ください